

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

玉名市地域学校協働本部
事業だより第76号
令和5年10月5日

発行：玉名市教育委員会 コミュニティ推進課

今年の夏は、例年以上に熱い夏でしたが、児童・生徒は、暑さにも負けずにいろいろな活動に取り組んでくれたのではないかと考えています。前期も6日（金）で終わります。10月になって、気候も良くなり、学びやスポーツに最適な季節となりました。児童・生徒が、目標をもって多くのことにチャレンジしていけるよう地域学校協働活動を充実させていきましょう。

今回は玉陵中学校区(玉陵小、玉陵中)の活動の様子をお伝えします。

玉陵小学校

委員会活動 花の苗植え



小・中学校の地域学校協働活動推進員の松川さん、荒木さんに指導していただき5・6年生の環境・ボランティア委員会の子どもたちがプランターに花の苗を植えました。子どもたちは、毎日の水やりなどのお世話を頑張り、綺麗な花がたくさん咲きました。お世話を頑張った人も花を見る人たちも心が温かくなりました。いつも環境面に配慮していただく推進員の松川さん・荒木さんありがとうございます。

5年生総合的な学習「田植え体験」



保護者の一瀬さんのご協力により、5年生が総合学習の時間に「田植え体験」を行いました。子どもたちは、ぬかるんだ田に足を取られ、転びそうになったり、足がぬけなくなったりと苗を植えることの大変さを感じたようです。田植えを終えた子どもたちの感想には「農家の人たちの苦勞が分かりました。ご飯を残さず食べます」などありました。このあと、稲の観察を続け、秋には稲刈り体験を予定しています。

4年生総合的な学習「玉名市の祭り・行事を調べよう」



4年生が地域にある梅林天満宮の歴史と伝統行事の流鏝馬について調べました。神主の井牟田さんに話を聞き、1000年以上の歴史を持ち、天満宮の中でも一番古い歴史があるという話や地元の人たちは流鏝馬のことを「ヤクサンドン」と呼んでいるという話を聞き驚いた様子でした。子どもたちの中に地域の宝である梅林天満宮を大切に守りたいという意識が生まれたようです。

裏面あり

玉陵中学校



「おもてなしフラワープロジェクト」

令和2年度から実施している「おもてなしフラワープロジェクト」を今年度も実施しました。くまもと県北病院と新玉名駅様へ学校で育てたプランターの花を届けました。リヤカーにプランターを載せ、学校運営協議会の方と玉陵中学校と玉陵小学校の子どもたちが協力して花を運び、花壇に植えたりプランターを置き、飾り付けをしたりしました。くまもと県北病院や新玉名駅にお越しの際は是非ご覧ください。

☆児童生徒の声：病院を訪問したり、新玉名駅を利用したりする人が喜んでくれたらうれしいです。

☆地域学校協働活動推進員の声：今年も実施できてとてもうれしい。子どもたちがとても頑張ってくれました。

「小中合同運営協議会」



第1回の学校運営協議会が実施されました。授業参加の後、学校経営の方針を承認していただき、学校の取組について様々な意見をいただきました。また、玉陵小学校の各委員長が今年度の抱負を発表し、玉陵中学校の会長と副会長が生徒会目標を、部活動代表が中体連に向けての抱負を発表しました。

☆学校運営協議会の方の声：朝からの挨拶運動などで子どもたちが元気に挨拶をしてくれるので元気をもらっている。小学生も中学生もいろいろ頑張ってくれているのでうれしい。

小中合同引き渡し訓練



小中合同の引き渡し訓練では、学校運営協議会の方が車の誘導等のお手伝いをしてくださいました。引き渡し訓練は無事に終了することができました。

☆担当者の声：地域学校協働活動推進員の方を通して、車の誘導などを学校運営協議会の方が手伝っていただいたおかげで、とてもスムーズに実施することができました。教職員だけでは人手が足りないので、支援がとても有り難かったです。

「職業講話」



推進員の方が紹介してくださった方が職業講話をして下さいました。勤務されていた時のエピソードや教訓とすべきことなどを話してくださいました。

☆生徒の声：「返事、挨拶、後片付けがしつけの三原則」「一人のお客様の後ろには1000人の人がいると思え」「笑顔が人を助ける」などの言葉が印象に残りました。

「職業体験学習」



推進員の方に段取りをしていただき、職場体験学習を実施しました。

生徒の声：小さい子たちの担当だったため、上手く言葉が通じなくて苦労した。まだまだ行きたかったなあと思った。

生徒の声：三日間でたくさんのが学べた。将来、習ったことを生かして仕事をしたいです。

